

第29回宇宙開発委員会（定例会議）

議 事 次 第

1. 日時 昭和51年12月15日（水）
午後2時～4時
2. 場所 宇宙開発委員会会議室

3. 議題

- (1) 昭和51年度1～2月期におけるロケット及び人工衛星の打上げ計画について

説明者	東京大学宇宙航空研究所教授	森 大吉郎
	〃	野村民也
	宇宙開発事業団副理事長	松浦陽恵
	〃 打上管制部長	村尾忠義
	〃 試験衛星設計グループ	
	総括開発部員	田畑浄治

(2) その他

4. 資料

- 委29-1 第28回宇宙開発委員会（定例会議）議事要旨
- 委29-2 SESノート K-№512 昭和51年度第2次
観測ロケット実験計画概要
- SESノート K-№513 K-9M-58による観測
- SESノート K-№514 M-3H-1号機の実験

委29-3 Nロケット3号機による技術試験衛星Ⅱ型打上げ
及び追跡管制計画書

委29-4 Nロケット3号機による技術試験衛星Ⅱ型の打上げ
及び追跡管制について

委29-5 昭和51年度1～2月期ロケット打上げ計画日程表

第28回宇宙開発委員会（定例会議）

議事要旨

1. 日時 昭和51年12月8日（火）午後2時～4時
2. 場所 宇宙開発委員会会議室
3. 議題
 - (1) 昭和51年度8～9月期におけるロケット打上げ結果の評価について（報告）
 - (2) M-3Hロケット1号機及びNロケット3号機の打上げに係る安全対策について（報告）
 - (3) その他
4. 資料
 - 委28-1 第27回宇宙開発委員会（臨時会議）議事要旨
 - 委28-2 昭和51年度8～9月期におけるロケット打上げ結果の評価について（報告）
 - 委28-3 M-3Hロケット1号機及びNロケット3号機の打上げに係る安全対策について（報告）

5. 出席者

宇宙開発委員会委員長代理	網 島 泰
委員	吉 謙 雅 夫
"	八 藤 東 福
"	齋 藤 成 文
説明者	
安全部会第二分科会長	山 内 正 男

(1)

関係省庁職員等

科学技術庁研究調整局長
 通商産業省機械情報産業局次長
 通商産業省工業技術院総務部長
 気象庁総務部長
 海上保安庁総務部長
 郵政省電波監理局審議官
 " " " " " "
 東京大学宇宙航空研究所
 事務局
 科学技術庁研究調整局宇宙企画課長
 " 宇宙国際課長
 " 宇宙開発課長

園 山 重 道
 井 川 博
 （代理：角田）
 杉 浦 博
 （"：木村）
 宇津木 巖
 （"：高谷）
 鈴 木 登
 （"：佐藤）
 門 田 博
 （"：寛）
 安 成 知 文
 渡 辺 清
 伊 藤 栄 一
 三 浦 信
 雨 村 博 光 他

6. 議事要旨

- (1) 前回議事要旨について
 第27回宇宙開発委員会（臨時会議）議事要旨が確認された。
- (2) 昭和51年度8～9月期におけるロケット打上げ結果の評価について（報告）

(2)

吉誠技術部会長から資料委28-2に基づいて説明が行われたのち、以下の質疑応答が行われ、報告書が了承された。

~~大塚：Ⅱ総合意見で、Mロケットとの相異に留意して、と特に述べた理由は何か。~~

~~吉誠：当然のことを述べたまでで、特別の理由はない。~~

大塚：S M R Cの燃焼時間が計画値より短くなった理由は何か。

吉誠：燃料を作ってから、実際に使用するまで2～3ヶ月あり、その間に経年変化があつたためである。

3) M-3Hロケット1号機及びNロケット3号機の打上げに係る安全対策について(報告)

網島毅安全部会長及び山内正男安全部会第二分科会長から資料委28-3に基づいて説明が行われたのち、報告書が了承された。

(4) その他

吉誠技術部会長から、技術部会第一分科会において、電離層観測衛星「うめ」の改修について目下フォロー・アップを進めており、来年3月頃一応の目途がつくと思われる。その結果の報告等についてはその時点でどのように扱うか考えたい旨の報告があつた。